

小児向け咬合力測定で噛む力を「見える化」 住友理工の新規開発・歯科用咬合力計が本宮小学校で初採用 ～学校歯科健康診断での活用は当社初、子どもの健康意識向上に貢献～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、田辺市立本宮小学校（所在地：和歌山県田辺市、校長：小松淳視）が 6 月 10 日（火）に実施した歯科健康診断における咬合力測定において、当社が新たに開発した歯科用咬合力計（仮称：Oramo™2）が採用されたことをお知らせいたします。



Oramo-bf と新規開発品（右）の比較画像



新規開発品で咬合力を測定する様子

当社が開発した I タイプのセンサー（以下、新規開発品※¹）による咬合力測定は、本宮小学校および当学校歯科医らの要望により、児童に噛むことの大切さや歯と口の健康に対する意識向上に向けた活動の一環として実施されました。なお、学校で行われる歯科健康診断での当製品の活用は、今回が初となります。

本宮小学校は、「生涯にわたる健康のために、自ら学び、行動できる児童の育成」を学校保健目標として掲げ、年間を通じて健康の保持・増進や、口腔機能の改善に向けた取り組みを行っています。毎年、全校児童と保護者に実施している、学校歯科医、歯科衛生士によるブラッシング指導や、毎月 8 日に「歯の日」の活動、本宮町学校保健委員会の組織活動を通じて、歯と口の健康の基盤づくりに努めています。当学校は、このような活動を経て、第 63 回（令和 6 年度）全日本学校歯科保健優良校表彰で「優秀賞（文部科学大臣賞）」を受賞しています。

今回、児童の口腔機能を総合的にチェックするため、歯科健康診断に加え、咬合力測定・咀嚼能力評価を実施し、咬合力測定において、当社の新規開発品が活用されました。咬合力測定は、学校歯科医による歯科健康診断の後に実施され、児童からは、「自分の噛む力がどれくらい気になる」「噛む力が強いと言われて嬉しかった」などの感想がありました。また、教職員からは、「児童が自身の噛む力を知り、噛むことの重要性を学習するきっかけに繋がる」という声や、「噛む力と学力・運動能力がどのように関連するのか興味深い」「噛むことに着目した一連の活動を継続していくことにより、今後どのように変化していくのか楽しみ」とのコメントがありました。当学校では、今後も学校保健活動を通じ、児童への口腔機能に関する取り組みの意欲向上や歯と口の健康に対する意識向上により、児童がますます力を伸ばし、健康になっていくことを目指しています。

従来の当社製品である口腔機能モニター「Oramo™-bf^{※2}」は、2022年7月に販売を開始し、主に高齢者の咬合力検査機器として、大学などの研究機関から歯科診療所など幅広く使用いただいています。使いやすさを考慮したコンパクトな設計で、訪問歯科診療や災害時の歯科医療活動の一環としても活用されています。さらに、小児や口を大きく開けることが難しい方の咬合力を計測したいという利用者様の声にお応えするため、新たに開発したのが、Iタイプ（個歯で計測）のセンサーです。従来の機能（対象者の口腔内にセンサーを挿入し、噛むだけで咬合力を簡単に短時間で測定することが可能）に加え、Uタイプ（全歯で計測）とIタイプのセンサーを取り換えていただくことで、より多くの方の咬合力検査が可能な製品として、今後発売を予定しています。

日本歯科医学会は、小児期は口腔機能を発達・獲得させる重要な時期であると提唱しています^{※3}。2018年には「口腔機能発達不全症^{※4}」といった新たな病名も認められており、口腔機能の発達が不十分な子どもが増えていることから、新規開発品は、このような課題を早期発見し、適切な発育に向けた軌道修正をサポートできると考えています。

住友理工グループでは、経営ビジョン「2029年 住友理工グループ Vision」で、「自然と都市と人の空間が繋がる グリーンで快適な社会」を掲げています。咬合力測定を身近に感じていただくことで、人々の安心・快適な生活の一助となり、歯科医師からの効果的な治療・アドバイスにつながることで生活の質（QOL）向上および健康で長寿な社会の実現に貢献してまいります。

以 上

※1 医療機器届出番号：23B2X10022000006

※2 医療機器届出番号：23B2X10022000004

※3 引用：日本歯科医学会「[口腔機能発達不全症に関する基本的な考え方](#)」

※4 先天性の疾患などがない子どもにおいて、食べる・話す・呼吸などの口腔機能が十分に発達していない、または正常な機能を獲得できていない状態を指す疾患。栄養不足による発達不良、開口障害の発生など、身体的リスクが懸念されている。

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制振音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>